

**令和6年度人権教育授業実践研修会
小学校第6学年社会科学習指導略案**
【政治の働きから歴史学習へつなぐオリエンテーションとしての授業展開例】

令和6年 月 日 () 第 校時
6年 組 人
〇〇市町村立〇〇小学校
指導者 教諭 〇〇〇〇〇

1 授業づくりに当たって

政治の働きから歴史学習に入る際のオリエンテーションとして、日本国憲法の条文と自分たちの生活とを関連させ、「教育を受ける権利（第26条）」の保障について考える。差別や貧困によって「教育を受ける権利」が奪われた不合理さや、権利保障のために努力した先人の働きが、現在の自分たちの生活にどのようなつながっているかを知ることを通して、歴史上の様々な課題の解決に向けて、どのような取組がなされ、今後どのように権利を守っていけばよいのかについて、主体的に追究・解決しようとする態度を育てられるようにする。

2 小学校学習指導要領解説社会編の位置付け

第3章 各学年の目標及び内容

2 第6学年の内容

(内容の取扱い)

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

歴史を学ぶ意味を考えると、歴史学習の全体を通して、歴史から何が学べるか、歴史をなぜ学ぶのかなど歴史を学ぶ目的や大切さなどについて考えることである。例えば、我が国の伝統や文化は長い歴史の中で育まれてきたことを踏まえ、過去の出来事は現代とどのような関わりをもっているかなど過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や、歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えることである。

その際、今日の自分たちの生活は、長い間の我が国の歴史や先人たちの働きの上に成り立っていることや、遠い祖先の生活が自分たちの生活と深く関わっていることなどを理解できるようにし、自分たちもこれからの歴史の担い手となることや、平和で民主的な国家及び社会を築き上げることに、考えを深めるようにすることが大切である。

実際の指導に当たっては、我が国の歴史は各時期において様々な課題の解決や人々の願いの実現に向けて努力した先人の働きによって発展してきたことを理解できるようにし、我が国が発展してきた基盤について考え、我が国の歴史への関心を高めるようにすることが大切である。このことは、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情を育てることにつながるものである。

3 学びの視点

【令和5年度版人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会」(P.12~13) から】

視点① 人々の生活を支え、文化の創造・継承に努めてきたことに気付く。

視点② 厳しく差別されてきた身分の人々への差別の不合理さについて考える。

視点③ 厳しく差別されてきた身分の人々が不合理な差別の中をどのような思いで生きてきたかを理解する。

※ 学びの視点については、一つの視点を重点的に扱う方法や、教育課程の時間配分によっては複数の視点で授業を構成する方法等、児童の実態等に応じて工夫する。

4 本時【学びの視点②③を中心にした実践例】

(1) 目標

- ア 「教育を受ける権利は」、これまでの歴史の中で、差別の不合理さに怒り、立ち上がった人々の努力によって守られてきたことを理解することができる。(知識及び技能)
- イ 教科書無償給与制度や識字学級について知ること、差別の不合理さに気付き、権利を守るためにはこれからも努力する必要があることに気付くことができる。(思考力、判断力、表現力等)
- ウ 教育を受ける権利について、日本国憲法第26条の条文に着目して調べ、まとめることで自分たちの生活との関わりを考え、表現することができる。(思考力、判断力、表現力等)
- エ これから学ぶ歴史学習の中で、どんな見方や考え方をもち、歴史学習に取り組むことが大切なのかを理解しようとするすることができる。(学びに向かう力、人間性等)

(2) 実際

学習過程	主な学習活動	時間(分)	◆指導上の留意点・学習資料
気付く	<p>1 教科書の価格を調べ、課題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「定価」には金額が書かれていない。 ・ 私たちへのメッセージがある。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。</p> </div> <p>2 本時の学習問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>教科書はどのようにして無償で支給されるようになったのだろう。</p> </div>	7	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教科書の裏表紙に書かれている内容を確認することで、教科書が無償で支給されていることに気付くことができるようにする。 ◆ 小学生の人口と教科書の価格を示すことで、多くの税金が使われていることが理解できるようにする。 ・ 小学校入学時の教科書配布袋
	調べる ・ 深める	<p>3 これまでの学習や、裏表紙に書かれているメッセージを踏まえて予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育を受ける権利があるから。 ・ 国会で決めたのではないか。 ・ どんな期待を込めているのだろうか。 <p>4 動画を視聴し、教科書無償給与制度について確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1955年頃の教科書代は 今の金額で、4,200円ほど ・ 教科書を買えない子ども ・ 「教科書をただにする会」 ・ 日本国憲法第26条 ・ 義務教育諸学校の教科用図書は無償措置に関する法律 	7
		<p>5 教育を受ける権利を奪われた人の思いや願いを考える。</p> <p>(1) 文字の読み書きができないことで困ることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バスや電車の行き先 ・ 病院や役所、銀行で… 	13

広 げ る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物, 商品説明 ・ 就職, 車の免許, 選挙… <p>(2) 資料①を読み感想を交流する。</p> <p>(3) 差別や貧困によって学校に行けなかった人たちが奪われたものは何か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学ぶ権利 ・ 文字を読み書きする力 ・ 将来の夢や仕事 等 	8	<p>ことや義務教育は無償であることを確かめられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 教育を受けさせたいという親の強い願いに気付かせる。 ◆ 資料①「ひいおばあちゃんのひらがなノート」を読むことで, 教科書を買うことができなかつた人たち, 勉強したくてもできなかつた人たちがいることを想起できるようにする。 <p>〔視点②〕</p> <p>厳しく差別されてきた身分の人々への差別の状況に気づき, 差別の不合理性について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 文字の読み書きができないために困る場面を, 自分の生活経験と重ねながら考えられるようにする。 ◆ 教科書を買えない子どもや保護者, 差別や貧困のために学ぶ権利を奪われた人の思いや願いを想像することで, 学ぶ権利が保障されていることの大切さを実感できるようにする。 ◆ 不合理な差別の中でも, あきらめずに自分を向上させようと努力する姿や学ぼうとする意欲など, 豊かな生き方を感じられるようにする。 ◆ SDGs の目標に触れてもよい。
	<p>6 学習問題のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>憲法で義務教育は無償であると定められていることを理由に, 教科書も無償で給与してほしいという運動を起こした人たちの願いが通じて, 国会で新しい法律がつけられた。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国会に声を届けることができる。 ・ 自分たちで社会を変えていける。 ・ 私たちが暮らしやすい社会をつくる。 ・ どんな社会をつくれればよいのだろう。 <p>7 本時の学習で気付いたことを交流し, これから学ぶ歴史学習で大事にしたいことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去の出来事と今の自分たちの生活をつなげて考える。 ・ 歴史から学んだことをどのように生かしていくか考える。 ・ 自分たちの生活が, 先人たちの働きの上に成り立っていることを知る。 ・ 自分たちはどんな未来をつくっていきたいかを考える。 	10	<p>〔視点③〕</p> <p>不合理な差別の中をどのような思いで生きてきたかを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 様々な人権問題や差別の不合理さなどは過去だけのことではなく, 現代にも存在することを確認することで, 未来につながる学習であることに気付くことができるようにする。 ◆ 歴史が, 今の自分たちの生活につながっていることや, 自分たちがこれからの歴史の担い手になること等を確認し, 学習意欲を高められるようにする。

(3) 評価規準

- 「教育を受ける権利は」、これまでの歴史の中で、差別や貧困に苦しんだ人々の努力によって守られてきたことを理解することができたか。(知識・技能)
- 教科書無償給与制度や識字学級を知ること、差別の不合理性や権利を守るためにはこれからも努力する必要があることに気付くことができたか。(思考・判断・表現)
- 教育を受ける権利について、日本国憲法第26条の条文に着目して調べ、まとめることで自分たちの生活との関わりを考え、表現することができたか。(思考・判断・表現)
- これから学ぶ歴史学習の中で、どんな見方や考え方をもち、歴史学習に取り組むことが大切なのかを理解し、学ぶ意欲を高めることができたか。(主体的に学習に取り組む態度)

5 学びの視点についての留意点

(1) 視点②について

本時は、「厳しく差別されてきた身分の人々」について取り扱う場面ではないため、「差別」や「身分」という言葉は扱わない。しかしながら、経済状況によって憲法で保障されている教育を受ける権利が平等に保障されていなかった状況は被差別状況と捉えることができる。権利が保障されないことは、個人の責任として我慢したり、あきらめたりする問題ではないことや、不合理であることを押さえたい。

また、差別を見抜く力や、差別を許さない態度は、日常生活において大事にしたい力である。本時で気付いたり、考えたりしたことが、児童の日常生活や学級の仲間づくりにつながっていくような授業を構想したい。

(2) 視点③について

「どのような思いで生きてきたか」について、「苦しい」とか「悲しい」などのイメージに陥りがちになるが、そのような中で、親たちが思いや願いをあきらめなかったことや、みんなで話し合おうとしたこと、世の中を変えていった力強さなどを共有したい。

また、県内にも識字学級があり、そこで学んでいた人たちがいたこと、現在では日本に来た外国人が日本語や日本の文化を学ぶための日本語教室として継続していることなどを伝えることで、立ち上がった人たちの残したものが、今も多くの人たちの学ぶ権利を保障し、人々の幸せにつながっていることにも気付くことができる。